

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画を作成する際、御本人や御家族の希望や願いが反映されていない	御本人やご家族の方の意向を定期的、または必要時に伺い記録として残しそれを介護計画に反映させる	管理者、ケアマネージャー、計画作成担当者が話し合いを行い、新しい様式を作成し、四月から使用出来る様検討しながら、作成している	3ヶ月
2	36	毎日の食事摂取量や排泄状況を記入したボードが、面会に来られた方から、見える所に置いているユニットがあり、プライバシーの保護が不十分で、グループホーム全体が統一されていない	排泄状況、バイタル等、面会に来られた方に、見えない様配慮する	全ユニットが、同じ用紙を使用し、面会に来られた方から見えない所に設置する	1ヶ月
3	1	ケア理念を掲げて数年がたち、入居者さまの状況も変わってきている	現在の入居者様に合ったケア理念を掲げ、実践していく。新人の職員にも、しっかり浸透させ、業務に従事していく	各ユニット毎に、入居者さまの状況に合ったケア理念を三月末までに掲げる。	6ヶ月
4	6	新人職員も多く、身体拘束に対する、職員の知識の差が見られる	職員全員が身体拘束をよく理解し、身体拘束をしない介護を実践していく	身体拘束防止マニュアルのファイルは一冊あったが、職員はほとんど目を通す事がなかったのので、各ユニットに準備し、新人職員にも浸透させる。また、月一回行っているグループホームの話し合いでも、引き続き、担当の職員を中心に、研修を行っていく	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。